



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社栗本鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 5602 URL https://www.kurimoto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊本 一高
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史 (TEL) 06-6538-7719
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	54,054	18.3	2,277	692.1	2,350	544.9	1,633	744.7
2022年3月期第2四半期	45,704	△16.7	287	△86.2	364	△83.0	193	△86.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,842百万円(365.7%) 2022年3月期第2四半期 395百万円(△81.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 133.86	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	15.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 138,685	百万円 69,020	% 48.8
2022年3月期	139,722	67,619	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 67,716百万円 2022年3月期 66,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 70.00
2023年3月期	—	40.00			
2023年3月期(予想)			—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	8.5	5,000	19.8	5,000	19.6	3,700	26.8	303.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,098,490株	2022年3月期	13,098,490株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	892,872株	2022年3月期	896,195株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	12,204,533株	2022年3月期2Q	12,196,943株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2023年3月期2Q12,405株、2022年3月期2Q19,556株、2022年3月期15,894株)が含まれています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料等)

四半期決算補足説明資料等は、2022年11月25日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の中、ワクチン接種が進み感染者数の減少が見られ景気回復が期待されましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、資源価格の高騰、円安などによる物価上昇の拡大が懸念され、経済情勢は不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、営業・事務部門では在宅勤務等を推奨し、工場の生産部門では安全と健康を最優先とした対策を講じ生産活動を継続しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、「ライフライン事業」「機械システム事業」「産業建設資材事業」ともに売上高が増加し、前第2四半期連結累計期間比8,349百万円増収の54,054百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う増益などにより、営業損益は、前第2四半期連結累計期間比1,990百万円増益の2,277百万円の利益、経常損益は、前第2四半期連結累計期間比1,985百万円増益の2,350百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、投資有価証券売却益、法人税等を計上し、前第2四半期連結累計期間比1,440百万円増益の1,633百万円の利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

「ライフライン事業」は、売上高につきましては、パイプシステム部門、バルブ部門において売上高が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比3,220百万円増収の27,932百万円となりました。

営業損益につきましては、原材料価格の高騰の影響もありましたが、高付加価値商品の売上高が増加したことなどが影響し、前第2四半期連結累計期間比802百万円増益の1,543百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門においてプレス機関連の売上高が増加したことなどにより、素形材部門においては破碎機、鋳物部品の出荷が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比2,600百万円増収の12,479百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門、素形材部門がともに増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比650百万円増益の260百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門において空調製品、土木製品の出荷が増加したことなどにより、化成品部門においては下水道向け製品やFRP製検査路の出荷が増加したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比2,529百万円増収の13,642百万円となりました。

営業損益につきましては、原材料価格の高騰の影響もありましたが、建材部門、化成品部門がともに増収となった影響などにより、前第2四半期連結累計期間比580百万円増益の494百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことなどで、前連結会計年度末比1,037百万円減少の138,685百万円となりました。

負債におきましては、短期借入金、長期借入金が減少したことなどで、前連結会計年度末比2,438百万円減少の69,664百万円となりました。

純資産におきましては、為替換算調整勘定が増加したこと、配当金の支払いがあったものの四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比1,400百万円増加の69,020百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は3,926百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の発生、売上債権の減少による資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は595百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は4,632百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の返済、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想を修正しております。つきましては、2022年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,358	20,248
受取手形、売掛金及び契約資産	35,482	31,402
電子記録債権	8,964	9,073
商品及び製品	9,736	11,744
仕掛品	8,575	10,721
原材料及び貯蔵品	3,650	3,787
その他	1,507	1,497
貸倒引当金	△126	△117
流動資産合計	89,149	88,357
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,787	13,787
その他(純額)	18,737	18,851
有形固定資産合計	32,525	32,638
無形固定資産		
その他	1,773	1,587
無形固定資産合計	1,773	1,587
投資その他の資産		
投資有価証券	11,526	11,360
その他	4,831	4,826
貸倒引当金	△83	△85
投資その他の資産合計	16,274	16,101
固定資産合計	50,573	50,327
資産合計	139,722	138,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,104	15,378
電子記録債務	13,556	13,628
短期借入金	22,250	18,950
1年内返済予定の長期借入金	1,222	670
未払法人税等	426	848
賞与引当金	1,896	1,791
その他の引当金	585	547
その他	6,804	8,053
流動負債合計	61,846	59,869
固定負債		
長期借入金	714	399
引当金	20	13
退職給付に係る負債	8,830	8,719
その他	690	662
固定負債合計	10,256	9,795
負債合計	72,102	69,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	27,029	28,236
自己株式	△1,802	△1,796
株主資本合計	63,287	64,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,256	3,158
繰延ヘッジ損益	1	7
為替換算調整勘定	44	241
退職給付に係る調整累計額	△247	△190
その他の包括利益累計額合計	3,054	3,217
非支配株主持分	1,277	1,304
純資産合計	67,619	69,020
負債純資産合計	139,722	138,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	45,704	54,054
売上原価	35,394	41,220
売上総利益	10,309	12,833
販売費及び一般管理費	10,022	10,556
営業利益	287	2,277
営業外収益		
受取配当金	162	192
その他	127	149
営業外収益合計	290	342
営業外費用		
支払利息	73	75
固定資産撤去費用	61	95
その他	78	99
営業外費用合計	213	269
経常利益	364	2,350
特別利益		
投資有価証券売却益	-	68
災害損失引当金戻入額	0	-
その他	-	1
特別利益合計	0	70
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	-	2
減損損失	41	-
その他	14	-
特別損失合計	56	2
税金等調整前四半期純利益	308	2,418
法人税、住民税及び事業税	86	722
法人税等調整額	△42	14
法人税等合計	44	737
四半期純利益	263	1,680
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	1,633

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	263	1,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△98
繰延ヘッジ損益	△0	6
為替換算調整勘定	59	196
退職給付に係る調整額	58	57
その他の包括利益合計	131	161
四半期包括利益	395	1,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	1,795
非支配株主に係る四半期包括利益	70	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308	2,418
減価償却費	1,301	1,456
減損損失	41	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	26	△7
受取利息及び受取配当金	△163	△193
支払利息	73	75
売上債権の増減額 (△は増加)	7,018	5,653
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,286	△4,259
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,619	△268
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	55	△28
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	12	-
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△68
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	-	△1
有形及び無形固定資産除却損	9	8
その他	△1,865	△796
小計	912	3,987
利息及び配当金の受取額	192	231
利息の支払額	△73	△75
法人税等の支払額	△446	△218
営業活動によるキャッシュ・フロー	584	3,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	-	93
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,070	△685
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	3
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△47	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,117	△595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800	△3,300
長期借入金の返済による支出	△334	△866
リース債務の返済による支出	△18	△18
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△488	△427
非支配株主への配当金の支払額	△26	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67	△4,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△553	△1,110
現金及び現金同等物の期首残高	20,359	21,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,805	20,188

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフ ライン事業	機械ス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,711	9,879	11,113	45,704	—	45,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	49	10	94	△94	—
計	24,745	9,929	11,123	45,798	△94	45,704
セグメント利益又は セグメント損失(△)	741	△389	△86	265	22	287

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額22百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額132百万円及び棚卸資産の調整額△117百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調整額」において、賃貸用資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において41百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフ ライン事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	27,932	12,479	13,642	54,054	—	54,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	40	26	128	△128	—
計	27,992	12,520	13,668	54,182	△128	54,054
セグメント利益	1,543	260	494	2,298	△20	2,277

(注)1 セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額9百万円及び棚卸資産の調整額△35百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。